

読書の旅

～清瀬の100冊～



清瀬市教育委員会

はじめに

皆さんは、日々の生活の中で、ゆっくりと本に向かう時間がありますか。
皆さんの中学校3年間は、体が大きく育つとともに、心も大きく成長する
時期です。

今まで知らなかったことを知りたいと思いませんか。

自分に自信を失いかけたことはありませんか。

自分がいったい何を探しているのか、見いだせずにいませんか。

そんなとき、本は 皆さんを支え励ましてくれます。

歩む方向を示してくれます。

そして、そっと応援してくれます。

「読書の旅」には100冊の本が紹介されています。

清瀬市立中学校の皆さんに、心に残る素晴らしい本との出会いがあることを
願い、選びました。

学校の図書館には、清瀬の100冊コーナーにすべての本が備えてあります。

たくさんの本を手に取り、たくさんの世界をのぞいてみましょう。

きっと、皆さんの心を満たしてくれる新しい世界に出会うはずです。

※この冊子は、50音順に並んでいます。

※読み終わったら、巻末の読書記録に日付と感想を書いておきましょう。

1 新版 愛、深き淵より。

星野 富弘/著

学研（旧版 立風書房）



不慮の事故で手足の自由を失い、口にくわえた筆で描いた花々の絵と詩が、人々に感動の渦を巻き起こして20年。貴重な写真を盛り込み、新しい世紀に向けての出発点として再編集された、1981年刊の新版。

2 赤毛のアン

L・M・モンゴメリー/著 西田 佳子/訳

西村書店



グリーン・ゲイブルスの老兄妹に引き取られることになった、やせっぽちで想像力豊かな赤毛の少女アン。あちこちで騒動を起こしながらも、プリンスエドワード島の美しい自然の中で成長してゆく。明るく、愛情あふれる名作。

3 アメリカひじき／火垂るの墓

野坂 昭如/著

新潮社



アニメ映画にもなった「火垂るの墓」の原作本です。昭和20年、戦争のなか、親も家も失い、二人きりになった兄と妹。14歳の清太と、4歳の節子が、つたなくも懸命に生きようとする姿を描いて、感動を呼ぶ名作。

4 アルジャーノンに花束を

ダニエル・キイス/著 小尾 扶佐/訳
早川書房



パン屋の店員チャーリーは、32歳で幼児の知能しかない。ある日、ネズミのアルジャーノンと同じ画期的な脳外科手術を受ける。手術を受けたチャーリーは、超天才に変貌していくが…。

5 RDGレッドデータガール 1～3

荻原 規子/著
KADOKAWA



山伏の修験場である玉倉神社に生まれ育った泉水子は、東京の高校への進学を薦められる。しかも山伏の修行を積んだ深行を一生付き添わせると言われ…。新感覚ファンタジー。

6 あん

ドリアン助川/著
ポプラ社



町の小さなどら焼き店。働き口を求め徳江という名の高齢の女性がやってきた。徳江のつくる「あん」は評判になり、店は繁盛するのだが…。壮絶な人生を経てきた徳江が、未来ある者たちに伝えようとした「生きる意味」とは。

7 アンジュール ある犬の物語

ガブリエル・バンサン/著

BL出版



ある日、犬は、野の道を疾走する車の窓から投げすてられる。にわか野良になった犬のその日の長いさすらいをたどって描く。目を吸いよせて離さない犬の姿態と表情は、ひとりに秘めておきたい絵と思い、誰かに見せずにはいられなくなる作品でもある。

8 アンネの日記

アンネ・フランク/著 深町 眞理子/訳

文藝春秋

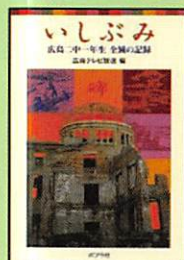


〈アンネ フランク〉1929-1945。第2次世界大戦中、ナチスのユダヤ人迫害のため短い生涯を閉じたアンネ。隠れ家に住み、日記を綴る。収容所で病没。ハリウッドスターになりたかった。恋もしたかった。性にもちょっぴり興味があつた。アンネの本当の心。

9 いしぶみ

広島テレビ放送/編

ポプラ社



昭和20年8月6日、広島二中の1年生たちはどのようにして死んでいったのか。文部省主催の昭和44年度芸術祭のテレビドラマ部門で優秀賞を受賞した。広島テレビ放送制作の「碑」をもとに書籍化。

10 一億百万光年先に住むウサギ

那須田 淳/著

理論社



宇宙服を着たウサギが走っていた。星の上をはね、また走り出し、たったたと加速して…。湘南を舞台に初恋の行方と家族の謎を描く、イノセントな青春ストーリー。

11 いちご同盟

三田 誠広/著

集英社



直美の病気をきっかけに徹也は親しくもなかった北沢に声をかける。徹也の直美に対する深い思いがあったからだ。だが、直美はしだいに北沢にひかれていく。徹也は言う「百まで生きて直美のことをずっと憶えていよう」

12 1ドルの価値／賢者の贈り物 他21編

〇・ヘンリー/著 芹澤 恵/訳

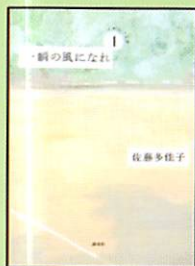
光文社



クリスマス・イブの夜、デラは愛しい夫にプレゼントを買うお金がなかった。そこで、デラは自分の美しい髪を売ることにした。一方、夫は…。表題作を含む21編収録した短編集。

13 一瞬の風になれ1～3

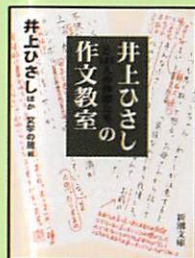
佐藤 多佳子/著
講談社



サッカーに限界を感じた新二と、やる気のない天才スプリンター連。とくに強豪でもない春野台高校陸上部に入部した幼馴染の2人、それがすべての始まりだった。思わず胸が熱くなる、とびきりの陸上青春小説。

14 井上ひさしと 141人の仲間たちの作文教室

文学の蔵 / 編
新潮社



文章の達人と言われる井上ひさしさんが、作文の書き方をていねいに教えてくれる一冊です。作文の秘訣を、「自分にしか書けないことを、だれにでもわかる文章で書くということだけなんです。」と伝授してくれます。

15 イワンのばか

レイ・トルストイ/著 金子 幸彦/訳
岩波書店



「イワンのばか」「人は何で生きるか」「人には多くの土地がいるか」「ふたりの老人」など、人生の愛と真実について語り掛けるトルストイの民話。

16 エイジ

重松 清/著

新潮社



友達、カノジョ、優しい家族に囲まれ郊外のニュータウンに住むマジメな
ぼく、エイジ。そんな日常の中、地元で起きた連続殺人事件の犯人がクラス
メートのタカやんだった…。14歳、いまどきの中学生をリアルに描く。山
本周五郎賞作品。

17 絵とき ゾウの時間 ネズミの時間

本川 達雄/著 あべ 弘士/絵

福音館書店



ガリバーが小人国に流れついた。小人の12倍の背だけがあるガリバー
は、小人の何倍の食事をとるのだろう？大きい動物、小さい動物、それぞ
れの動物の一生の時間も違ってくる。

18 絵のない絵本

アンデルセン/著 矢崎 源九郎/訳

新潮社



屋根裏に住む貧しい画家に、幼なじみの月が夜ごと自分が世界中で見てき
たことを語る33話。

19 鬼の橋

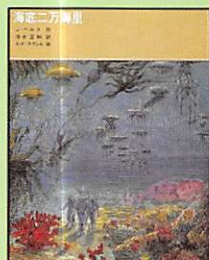
伊藤 遊/著
福音館書店



昼間は京の都のお役人にして漢詩人、夜は地獄でえんま大王の右うでとして働いたという不思議な伝説を持つ、平安初期に実在した人物・小野篁。その少年時代を描いたファンタジー。

20 海底二万里

ジュール・ヴェルヌ/著 清水 正和/訳
福音館書店



潜水艦ノーチラス号にとらわれの身となった、博物学者アロナックス教授、青年 CONSEYU、鰐打ちネッド・ランド。思いがけない探検の旅に出た3人は、海底の神秘にふれる。海洋冒険小説の名作。

21 楽隊のうさぎ

中沢 けい/著
新潮社



中学生という、心と体の伸び盛りを愛する気持ちを忘れてはいませんか。臆病な中学生は吹奏楽部で生き生きとした自分を取り戻す。ブラスバンド少年の成長を描く長編小説。

22 岳物語

椎名 誠/著
集英社



岳は私の息子。私がプロレスや空手ごっこで遊んでやったせいか、小学生になっても、けんかは強いが勉強は苦手になっている。今では、釣りにこり、専門書も読みこなし、親の無知をしかるようにまでなった。岳の成長物語。

23 数の悪魔 算数・数学が楽しくなる12夜

ハンス・マグヌス・エンツェンスベルガー/著
丘沢 静也/訳
晶文社



算数が大嫌いなロバートの夢に現れた「数の悪魔」による真夜中のレッスン。1や0のマジック、素数の謎、累乗と平方根、パスカルの三角形、順列・組み合わせなど、果てしなく不思議な数の世界を楽しむ本。

24 風が強く吹いている

三浦 しをん/著
新潮社



奇跡のような出会いから、清瀬灰二と蔵原走は無謀にも陸上とかけ離れていた者たちと箱根駅伝に挑む。それぞれの「頂上」をめざして…。長距離を走るために必要な真の「強さ」を謳いあげた、超ストレートな青春小説。

25 風が吹くとき

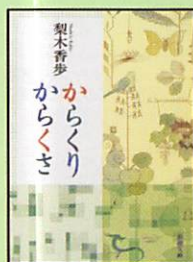
レイモンド・ブリッグス/著 さくま ゆみこ/訳
あすなろ書房



ジルとヒルダの平凡な日々を突如襲った強い光と風。それが意味するものは…。ふつうの人たちが犠牲になる核戦争の脅威を、漫画のコマ割りの手法で描き、絵本の常識をくつがえす作品として、大きな評判を呼んだ作品。

26 からくりからくさ

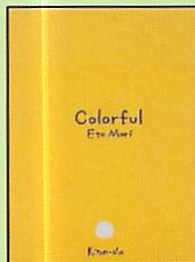
梨木 香歩/著
新潮社



何かを探すためでなく、ただ日常を生き抜くために…。古い祖母の家。草々の生い茂る庭。染め織りに心惹かれる4人の娘と、不思議な人形にからまる縁。生命を支える新しい絆を深く伝える。

27 カラフル

森 絵都/著
理論社



「おめでとうございます、抽選に当たりました！」いいかげんな天使が言った。死んだはずの「ぼく」は下界にいる他人の体にホームステイすることになるという。前世の記憶もないまま下界生活にまいもどり…。グッとくるハートウォーミング・コメディ。

28 機関車先生

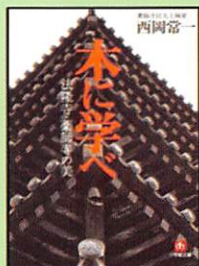
伊集院 静/著
講談社



瀬戸内海に春が来た。4年生のヨウが夢で見たように、岬の日向ツ原には春が来ていた。そして夢のとおり、新しい先生がやってきた。波光きらめく島で、大きな先生と子どもたちが人間の優しさを学んでゆく、感動の名作。

29 木に学べ 法隆寺・薬師寺の美

西岡 常一/著
小学館



最後の宮大工棟梁、西岡常一氏が語り下ろしたベストセラー。木の心を知り、木と共に生き、宮大工としての技術と心構え、再建に懸けるすさまじいまでの執念を語る。その一つ一つの言葉には、日本人の忘れかけた日本文化の深さが伝わってくる。

30 君たちはどう生きるか

吉野 源三郎/著
ポプラ社



「どう生きてゆこうか」、「どう生きてゆくのが正しいのだろうか」、考えたり疑ったりするのは、人間が人間であるという証拠ともいえる…。長く読み継がれてきた、今の時代にこそ読んでもらいたい一冊。

31 ギリシア神話

石井 桃子/編訳 富山 妙子/絵
のら書店



プロメテウスの火、パンドラ、ヘラクレスの十二の冒険、ダイダロスとイカロス…。数多い神話の中でもすぐれて力強く、豊かな魅力にあふれたギリシア神話を、格調高い訳文と絵で紹介。

32 銀河鉄道の夜

宮澤 賢治/著
集英社



ジョバンニとカンパネラは銀河鉄道に乗ってしまった。白鳥の停車場は20分停車。改札口には紫がかった電灯がついているがだれもいない。広場で砂をすくってみると、中は火がもえる水晶。幻想の世界が続く。

33 キング牧師の力づよいことば

ドリーン・ラパポート/著
ブライアン・コリアー/絵 もりうちすみこ/訳
国土社



1964年にノーベル平和賞を受賞したキング牧師。アメリカで公民権運動に尽くし、世界を動かし、今も励まし続ける牧師の力強い言葉と愛と勇気に満ちた生涯を、詩のような短い文と美しい絵で描き出した絵本です。

34 クイールを育てた訓練士

多和田悟・矢貫隆/著

文藝春秋

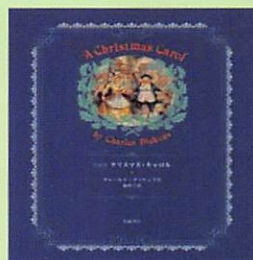


クイールをめぐるもう一つの物語。「クイールはね、とてつもなく頑固なやつでした。」あのクイールを育てた「魔術師」がつづる、盲導犬訓練30年間の軌跡。盲導犬について学びたい人、訓練士を志す人に必読の書です。

35 クリスマス・キャロル

チャールズ・ディケンズ/著 脇 明子/訳

岩波書店

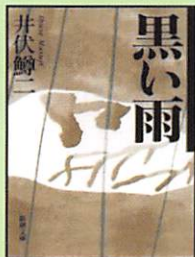


氷のように冷たく罪深いスクルージ。クリスマス・イブの夜、彼の前に現れた3人の幽霊が彼に見せたのは、現在・過去・未来の彼自身の姿だった。スクルージはそこで初めて自分の真の姿を知るのだった。

36 黒い雨

井伏 鱒二/著

新潮社



昭和20年8月6日、広島に原爆が投下された。そして広島には放射能を大量に含んだ黒い雨が降った。矢須子は黒い雨にぬれながら、焼け跡で家族を探し始める。被爆者となった矢須子の人生に寄り添って読んで下さい。

37 櫛通りの人びと

内海 隆一郎

講談社

櫛通りの人びと
内海隆一郎

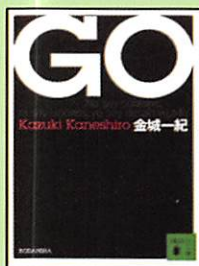


清瀬駅北口から続くけやき通りを舞台にした一人暮らしの自転車屋さん、喫茶店の女主人、退職して犬を飼い始めた老人、駆け落ち結婚の十代の若夫婦…。郊外の町にひっそりと真摯に生きる人たちのお話です。

38 GO

金城 一紀/著

講談社



生まれ育ちは日本だけれど、僕は“在日”と呼ばれる。ある日僕はムチャクチャ可愛らしい“日本人”と恋に落ちる。軽快なテンポとさわやかな筆致で差別や国境を一蹴する、感動の青春恋愛小説。

39 五重塔はなぜ倒れないか

上田 篤/編

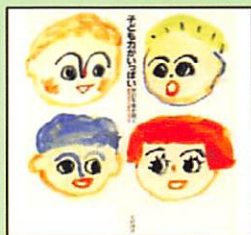
新潮社



自然の災害の多い日本にあって、五重塔はなぜ倒れないのか。それはただ美しいだけではない、宮大工の知恵、構造力学の宝庫であった。建築、歴史、構造など、さまざまな分野から五重塔の神秘に迫る。

40 子ども力がいっぱい

河合 隼雄/著
光村図書出版



人間は機械ではない。矛盾やら不連続性などがあるから面白いのだ。七人の個性と河合隼雄が織りなす対談集。「子ども力」を育むたくさんのヒントがある。

41 さぶ

山本 周五郎/著
新潮社



ぐずでお人好しのさぶと生一本な性格ゆえに不幸な境遇に落ちた栄二。二人の心温まる友情をとおして、“人間の真実とは何か”を探る。

42 サラダ記念日

俵 万智/著
河出書房新社



日常の何気ない一瞬を新鮮な感性でとらえ、軽快な言葉で詠んだ現代歌集。与謝野晶子以来の革命的情熱歌人として話題をさらった俵万智。口語短歌ブームを巻き起こすきっかけにもなった。

43 三国志 上・中・下

羅貫中/著 小川環樹・武部利男/編訳
岩波書店



2世期末、中国後漢末期、打ち続く戦乱に苦しむ人民を見て劉備は項羽、張飛と兄弟のちぎりを結び、軍師孔明を迎え天下統一を目指す。英雄と豪傑が入り乱れ、力の限りを尽くして戦うドラマが始まる。

44 山椒大夫・高瀬舟・阿部一族

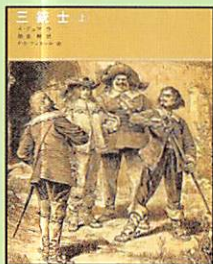
森 鷗外/著
角川文庫



父をたずねる旅の途中、安寿と厨子王は人買いにだまされて母と離され、山椒大夫のもとへ売られる。姉は弟を逃がしたあと、池に身を投げる。自己犠牲や親子の固いきずな、伝説をもとに、中世を舞台に描く人間ドラマ。

45 三銃士 上・下

アレクサンドル・デュマ/著 朝倉 剛/訳
福音館書店



田舎からパリにやってきた若き騎士ダルタニャンは、宮廷の陰謀に巻き込まれてしまう。彼は親友となった三人の騎士とともに、命がけでイギリスへ渡った王妃のダイヤを取り戻そうとするが…。

46 34丁目の奇跡

ヴァレンティン・ティヴィス/著
片岡しのぶ/訳
あすなろ書房



マンハッタン34丁目にあるメイシー百貨店に、おもちゃ売りのサンタとして、一人の老人が雇われた。彼の名はクリス・クリングル。その風貌はサンタにそっくりだった…。聖なる夜の心あたたまる物語。

47 塩狩峠

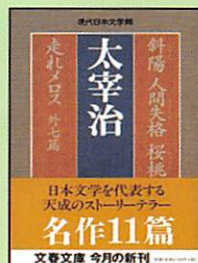
三浦 綾子/著
新潮社



明治末年、若葉薫る旭川の塩狩峠で起こった列車事故。客車が、峠の頂上で突然離れ、暴走し始める。声もなく恐怖に怯える乗客、鉄道職員、永野信夫は飛びつくようにハンドブレーキに手をかけた。永野と乗客の運命は。

48 斜陽、人間失格、桜桃、 走れメロス 外七篇

太宰 治/著
文藝春秋



没落貴族の哀歓を描いた「斜陽」。太宰文学の総決算「人間失格」。友情の究極の姿を描いた名作「走れメロス」など、日本が生んだ天才作家の作品集。

49 車輪の下で

ヘッセ/著 松永 美穂/訳
光文社



まれにみる秀才ハンスは故郷の人々の期待を受けて、神学校に進学した。しかし学校での厳しい生活になじめず、心身ともに疲れ切って故郷に戻り…。ヘルマン・ヘッセの自伝的小説。

50 自閉症の僕が跳びはねる理由

東田 直樹/著
KADOKAWA



人との会話が困難で、気持ちを伝えることができない自閉症者の心の声を記した本書。障害を個性に変えて生きる純粋でひたむきな言葉は、当事者や家族だけでなく、海をも越えて希望と感動を人々にもたらした。

51 14歳の君へ どう考えどう生きるか

池田 晶子/著
毎日新聞社



これから君は、幸福な人生を生きなくちゃならない。不幸な時代であっても、幸福な人が不幸になることだけは決してない…。「14歳からの哲学」の著者が贈る人生の教科書。

52 少年H 上・下

妹尾 河童/著

講談社

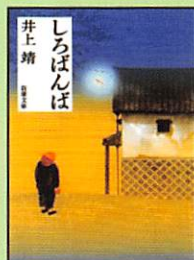


胸にH・SENOの文字のセーター。好奇心と正義感にあふれた悪童「H」とその家族が巻き起こす愛と笑いと勇気の物語。H少年の眼を通して戦争の時代が生き生きと描かれる。

53 しろばんば

井上 靖/著

新潮社



しろばんばとは、野原を飛び回る小さな虫のこと。野草の匂いと陽光のみなざる、伊豆湯ヶ島の自然の中で、幼い魂はいかに成長していったか。どんと焼きでの幼い初恋の思い出など、著者自身の少年時代を描く。

54 新13歳のハローワーク

村上 龍/著 はまの ゆか/絵

幻冬舎



現代をサバイバルするための仕事の大本拠。国語、社会、理科、体育など、好きな「教科」を入り口に様々な職業を紹介する。2003年刊「13歳のハローワーク」に89の職業を追加し、ページを大幅増量。

55 スキップ

北村 薫/著

新潮社



「私」は一つの物語である。誰もが一冊の本である。しかしその本が落丁だったら、どうするか。本を投げ捨てるか、読み進むか…。時間のねじれの中で17歳の力が25年の時空を超えて動き出します。

56 杉原千畝物語

杉原幸子・杉原弘樹/著

金の星社



1940年リトアニアの首都カウナスで、ポーランドから命からがらに逃げてきたユダヤ人にビザを発行。6000人の命を救うために、国と国をこえて、心の命令に従った外交官・杉原千畝の生涯をつづる。

57 すべてのいのちが愛おしい

柳澤 桂子/著

集英社



「里菜ちゃん、自然の不思議に驚いたことがあるでしょう？」孫への手紙という形式で、いのちの不思議、宇宙の神秘、そして愛と死について。生命科学者がすべての人に贈る詩情豊かなサイエンスエッセイ。

58 青春デンデケデケデケ

芦原 すなお/著

河出書房新社



少年たちがバンドを作って、練習して、文化祭でコンサートを開いて、主人公が旅立って行く…。映画化原作の青春小説の名作。

59 精霊の守り人

上橋 菜穂子/著

偕成社

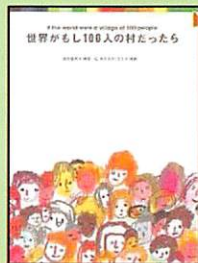


“精霊の守り人”としての運命を背負わされたチャグム皇子と、母妃からチャグムを託された女用心棒のバルサ。多くの謎を秘めて、物語は人間の住む世界「サグ」と精霊の住む「ナユグ」の問題へと発展していく…。

60 世界がもし100人の村だったら 1～5

池田 香代子/編著

マガジンハウス



世界中の人々63億人を100人の村に縮めてみると…100人のうち61人がアジア人、13人がアフリカ人…。知らなかった日常が見えてくる。インターネットで世界中を駆けめぐった現代の民話。

61 蝉しぐれ

藤沢 周平/著

文藝春秋

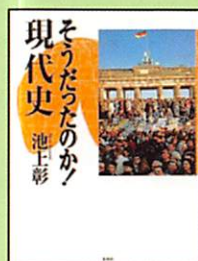


藩の権力争いに巻き込まれた父の汚名をはらすべく、剣術を磨く少年藩士の物語。幼馴染との恋模様も描かれており、時代小説を読んだことのない人にもお勧めの一冊。

62 そうだったのか！現代史

池上 彰/著

集英社



テレビでおなじみの著者が「東西冷戦」から「2000年パレスチナ紛争」まで、知っておくべき国際社会の常識・枠組みを写真や図を交えてわかりやすい語り口調で解説した歴史書。

63 そして誰もいなくなった

アガサ・クリスティ/著 青木 久恵 / 訳

早川書房



オーエンと名乗るなぞの人物に招待された年齢も職業もばらばらの10人男女が孤島の邸宅に集まったとき、おそろべき殺人ゲームの幕が開いた。一人、また一人と客たちが次々と犠牲となってゆく。最後に残るのは？

64 太陽の子

灰谷 健次郎/著
KADOKAWA



てだは太陽、ふあは子。てだのふあはふうちゃんのことなんや。…沖縄戦で傷ついた心やさしい人たちの住む神戸の町。でも戦争の思い出はじりじりとお父さんを追いつめた。

65 地球から来た男

星 新一/著
KADOKAWA



産業スパイとして研究所にもぐりこんだ俺は、たちまち守衛につかまり、独断で処罰されることに。それは開発途上で放置されたテレポーテーション装置を使った、地球外惑星への追放だった！

66 父の詫び状

向田 邦子/著
文藝春秋



宴会帰りの父の赤い顔、母に威張り散らす父の高声、朝の食卓で父が広げた新聞。だれの胸の中にもある父のいる懐かしい家庭の息遣いをユーモアを交えて見事に描き出し、「真打ち」と絶賛されたエッセイ。

67 劔岳 点の記

新田 次郎/原作 山本 甲士/文
文藝春秋



日露戦争直後、前人未踏といわれ恐れられた北アルプス・劔岳。測量官・柴崎芳太郎と案内人・長次郎がさまざまな困難と闘いながらその頂に挑戦する。新田次郎の原作を読みやすくして再小説化。

68 時の旅人

アリスン・アトリー/著 小野 章/訳
評論社



病氣療養のため、母方の古い農場にやってきたベネロピーは、ふとしたことから16世紀の荘園に迷いこむ。王位継承権をめぐる歴史上の大事件にまきこまれた少女の、時をこえた冒険。

69 時をかける少女

筒井 康隆/著
KADOKAWA



高校生の真琴は、自転車事故をきっかけに、「タイムリープという力を身に付ける。半信半疑の真琴は能力を使い始めるが…。世代を超えて読み継がれる青春小説の名作。

70 トムは真夜中の庭で

フィリパ・ピアス/著 高杉 一郎/訳
岩波書店



友達もなく退屈しきっていたトムは、真夜中に古時計が13も時を打つのを聞き、昼間はなかったはずの庭園に誘い出されて、ヴィクトリア朝時代の不思議な少女と友だちになり…。

71 ともしびをかかげて 上・下

ローズマリ・サトクリフ/著 猪熊 葉子/訳
岩波書店



衰退したローマ帝国は、450年にわたるブリテン島支配に終止符をうつ。地方軍団の指揮官アクイラは、悩んだ末に軍を脱走し、故郷のブリテン島にとどまることを決意したが…。

72 博士の愛した数式

小川 洋子/著
新潮社

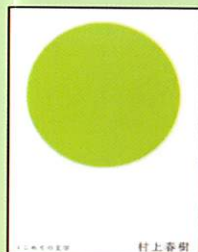


この世界は驚きと歓びに満ちていると、たった一つの数式で示した…。記憶力が80分しか維持できない天才数学者、と家政婦の私、阪神タイガースファンの10歳の息子3人の奇妙な関係を軸にした物語。

73 はじめての文学 村上春樹

村上 春樹/著

文藝春秋



小説の面白さ、楽しさを味わうために、著者自身が用意したアンソロジー。はじめての人も、春樹ファンも欠かせない一冊。「かえるくん、東京を救う」など全17編を収録。

74 バッテリー I～VI

あさの あつこ/著

教育画劇



そうだ、本気になれよ。本気で向かってこい。子供だとか小学生だとか中学生だとか、関係ないこと全部捨てて、おれの球だけを見ろよ。多感な時期を野球に明け暮れて過ごす少年たちを、生き生きと描き出す。

75 ひめゆりの少女

宮城 喜久子/著

高文研



粗末な紙の手製の日記帳を開けば、サンゴ石灰岩を鮮血で染めた50年前の6月が蘇る。沖縄戦開始の日の夜から砲弾の下で3カ月、生と死の境界線上で書き続けた日記をもとに伝えるひめゆり学徒隊の真実。

76 100万回生きたねこ

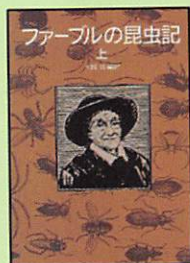
佐野 洋子/著
講談社



100万回生まれかわっては、飼い主のもとで死んでゆく猫。飼い主たちは猫の死を悲しんだが、猫自身は死ぬのが平気だった。ある時、猫は誰の猫でもない野良猫となり、一匹の白猫に恋をする…。

77 ファーブルの昆虫記 上・下

ファーブル/著 大岡 信/編訳
岩波書店



わたしたちのまわりにいる虫はどんな暮らし方をしているのだろうか？ ファーブルの著した「昆虫記」の中から、幼虫時代の長いセミ、狩りのうまいカマキリ、ふんばかり集めるフンコロガシなど興味深い虫の話を選ぶ。

78 武士道シックスティーン

菅田 哲也/著
文藝春秋



「ようするにチャンバラダンスなんだよ、お前の剣道は」「兵法がどうたらこうたら。時代錯誤もいいとこだっつーの」。柔の早苗と剛の香織の勝負の行方は？ 痛快・青春エンターテインメント。

79 ふたり

赤川 次郎/著
新潮社



優秀な姉の千津子は、妹の実加に「いつもあんたのそばにいる」と言って亡くなった。だが、千津子は実加の中で生きていた。実加の頭の中だけで千津子の声が聞こえるのだ…。

80 包帯クラブ

天童 荒太/著
筑摩書房



誰かの心が傷ついた、その「場所」に包帯を巻いていく少年少女の物語。これは、戦わないかたちで、自分たちの大切なものを守ることにした、ある小さなクラブの記録であり、途中報告書だ…。

81 僕は勉強ができない

山田 詠美/著
新潮社



17歳の時田秀美くんは、サッカー好きの高校生。勉強はできないが、女性にはよくもてる。「ぼくは確かに成績は悪いよ。でも、勉強よりも素敵で大切なことがいっぱいあると思うんだ。」凛々しい秀美が活躍します。

82 ぼくらの七日間戦争

宗田 理/著

ポプラ社



夏休みを前にした終業式の日、東京の下町にある中学校の1年2組の男子生徒全員が姿を消した。彼らは河川敷の廃工場に立てこもり、大人への「叛乱」を起こしたのだ…。七日間に及ぶ大人たちとの大戦争を描く。

83 ポケット詩集

田中 和雄/編

童話屋

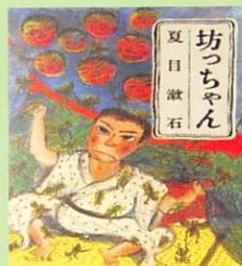


いい詩は生きる歓びにあふれている。そんな志の高い詩を読むと、自分が豊かになる。雨二モマケズ、わたしを束ねないで、自分の感受性くらい、ゆずりは、ぼろぼろな駝鳥など、とびきりの詩を収録する。

84 坊っちゃん

夏目 漱石/著

KADOKAWA



子どものときから無鉄砲で父母からもてあまされ、下女の清だけにかわいがられて育った「おれ」は、四国松山の中学校に英語の教師として赴任する。そこで、同僚の数学教師山嵐とともに、正義のために大活躍する。

85 マザーテレサ あふれる愛

沖 守弘/著

講談社



マザー・テレサとの数度にわたる対話と、許可を得て撮られた多くの写真を通し、マザーの生い立ちから生涯、著者とマザーとの交流などをあますところなく語る。

86 道は必ずどこかに続く

日野原 重明/著

講談社



自分らしさを見つけるために、何を考え、どう行動するか…。97歳の現役医師・日野原重明が、これまでの人生の実感から生まれた信念を語る。大人への第一歩を踏み出す15歳へのメッセージ。

87 壬生義士伝 上・下

浅田 次郎/著

文藝春秋



鳥羽伏見の戦いの夜、満身創痍の侍・吉村貫一郎が北浜の南部藩蔵屋敷にたどり着く。脱藩し、新選組隊士となった吉村に、旧友・大野は切腹を命じる。新選組にあってただひとり「義」を貫いた男の生涯。

88 モギ ちいさな焼きもの師

リンダ・スー・パーク/著 片岡 しのぶ/訳
あすなろ書房



橋の下で暮らす少年モギの運命を変えたものは、美しい高麗青磁の輝きだった。12世紀後半の韓国、青磁の村を舞台に、名焼き物師の見習いとなった名もなき少年の物語。

89 モモ

ミヒャエル・エンデ/著 大島 かおり/訳
岩波書店



時間どろぼうに盗まれた時間を人間にとり返してくれた女の子の不思議な物語。時間に追われ、人間本来の生き方を忘れてしまっている現代の人々に、風変わりな少女モモが時間の真の意味を気づかせてくれます。

90 山中伸弥先生に、人生とiPS細胞について聞いてみた

山中 伸弥/著 (聞き手：緑慎也)
講談社



山中先生が初めて語った、「iPS細胞ができるまで」と「iPS細胞にできること」。「ジャマナカ」と蔑まれた研修医時代や研究者への転向、留学後かかった「アメリカ後うつ病」、「ヒトiPS細胞」の開発競争。山中先生が見つめる再生医療の未来とは？

91 寄りかからず

茨木 のり子/著

筑摩書房



もはや いかなる権威にも寄りかかりたくはない ながく生きて 心底学んだのはそれぐらい…。静かに激しく紡ぐ、7年ぶりの詩集。書き下ろしを含む15篇を収録。

92 夜のピクニック

恩田 陸/著

新潮社

恩田陸



夜のピクニック

夜を徹して80キロを歩き通すという、高校生活最後の一大イベント「歩行祭」。生徒たちは、親しい友人と想い人への気持ちを打ち明け合ったりして一夜を過ごす。そんな中、貴子は一つの賭けを胸に秘めていた。

93 羅生門 蜘蛛の糸 杜子春 外十八篇

芥川 龍之介/著

文藝春秋



荒廃した京の都で、主人から暇を出された下人は、盗人になるしかがないが、決心がつかない。ある日、羅生門の上で死人の髪を盗もうとする老婆に「何をするんだ」と怒りを覚えるが…。果たして下人のとった行動は。

94 竜馬がゆく 1～5

司馬 遼太郎/著
文藝春秋



幕末から明治にかけて日本を大きく動かした坂本龍馬。土佐藩の下級武士の次男坊だった龍馬が、勝海舟と出会い、新しい日本を作ろうとする。長編であるが魅力ある龍馬に飽きることなく読める。

95 レ・ミゼラブル 上・下

ビクトル・ユゴー/著 清水 正和/編訳
福音館書店



たった一個のパンを盗んだために囚人となったジャン・ヴァルジャンの数奇な運命を、19世紀前半の混乱したフランス社会を背景に雄大に描いた大河口マン。

96 老人と海

ヘミングウェイ/著 福田 恆存/訳
新潮文庫



海の男、サンチャゴ。年老いた彼には、不屈の闘志があった。ひとり、小舟で沖に出て一週間。ついに遭遇した巨大なカジキマグロ。殺すか殺されるかの格闘が続く中、いつしか彼の心には、大魚への友情が生まれていた。

97 ローワンと魔法の地図

エミリー・ロッダ/著 さくま ゆみこ/訳
あすなろ書房



リンの谷を流れていた水が止まり、川の水しか飲まない家畜のバクシャーは、日に日に弱ってくる。謎を解くため、少年ローワンは水源のある魔の山に向かうが…。スリル溢れる冒険ファンタジー。

98 若草物語

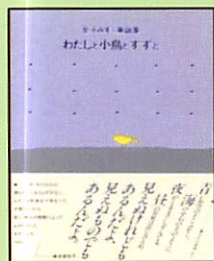
ルイザ・メイ・オルコット/著 吉田 勝江/訳
KADOKAWA



南北戦争時代のアメリカ。従軍牧師として戦地にある父親不在の家庭を、メグ、ジョー、ベス、エイミーの4姉妹は母と隣人の善意に助けられながら、失敗をのりこえていく。米国家庭小説の金字塔。

99 わたしと小鳥とすずと

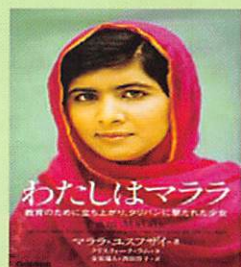
金子 みすゞ
JULA出版局



26歳の若さで亡くなった金子みすゞの童謡集。優しさに貫かれた作品の数々。短く分かりやすい言葉でつづられている。今まで気付かなかったことに、はっと気づくことだろう。

100 わたしはマララ

マララ・ユスフザイ、クリスティーナ・ラム/著
金原瑞人・西田佳子/訳
学研



「すべての子どもに教育を」と訴え、イスラム武装勢力に銃撃された16歳の少女・マララの手記。女の子が教育を受ける権利を求める戦いの記録でもあり、テロリズムによって生活が一変した家族の物語でもある。



	書名	読んだ日&メモ
あ	1 新版 愛、深き淵より。	/
	2 赤毛のアン	/
	3 アメリカひじき／火垂るの墓	/
	4 アルジャーノンに花束を	/
	5 RDGレッドデータガール1～3	/
	6 あん	/
	7 アンジュールある犬の物語	/
	8 アンネの日記	/
	9 いしふみ	/
	10 一億百万年光年先に住むウサギ	/
	11 いちご同盟	/
	12 1ドルの価値／賢者の贈物他21選	/
	13 一瞬の風になれ1～3	/
	14 井上ひさしと141人の仲間たちの作文教室	/
	15 イワンのばか	/
	16 エイジ	/
	17 絵ときゾウの時間 ネズミの時間	/
	18 絵のない絵本	/
	19 鬼の橋	/
か	20 海底二万里	/
	21 楽隊のうさぎ	/
	22 岳物語	/
	23 数の悪魔 算数・数学が楽しくなる12夜	/
	24 風が強く吹いている	/
	25 風が吹くとき	/
	26 からくりからくさ	/
	27 カラフル	/
	28 機関車先生	/

	書名	読んだ日&メモ
	29 木に学べ 法隆寺・薬師寺の美	/
	30 君たちはどう生きるか	/
	31 ギリシャ神話	/
	32 銀河鉄道の夜	/
	33 キング牧師のかづよいことば	/
	34 クイールを育てた訓練士	/
	35 クリスマス・キャロル	/
	36 黒い雨	/
	37 樺通りの人びと	/
	38 GO	/
	39 五重塔はなぜ倒れないのか	/
	40 子ども力がいっぱい	/
さ	41 さぶ	/
	42 サラダ記念日	/
	43 三国志 上・中・下	/
	44 山椒大夫／高瀬舟／阿部一族	/
	45 三銃士 上・下	/
	46 34丁目の奇跡	/
	47 塩狩峠	/
	48 斜陽・人間失格・桜桃・走れメロス 外七編	/
	49 車輪の下で	/
	50 自閉症の僕が跳びはねる理由	/
	51 14歳の君へ	/
	52 少年H 上・下	/
	53 しろばんば	/
	54 新13歳のハローワーク	/
	55 スキップ	/
	56 杉原千畝物語	/

	書名	読んだ日&メモ
	57 すべてのいのちが愛おしい	/
	58 青春デンデケデケデケ	/
	59 精霊の守り人	/
	60 世界がもし100人の村だったら1～5	/
	61 蝉しぐれ	/
	62 そうだったのか！現代史	/
	63 そして誰もいなくなった	/
た	64 太陽の子	/
	65 地球から来た男	/
	66 父の詫び状	/
	67 劔岳 点の記	/
	68 時の旅人	/
	69 時をかける少女	/
	70 トムは真夜中の庭で	/
	71 ともしびをかかげて	/
は	72 博士の愛した数式	/
	73 はじめての文学 村上春樹	/
	74 バッテリー I～VI	/
	75 ひめゆりの少女	/
	76 100万回生きたねこ	/
	77 ファーブルの昆虫記 上・下	/
	78 武士道シックスティーン	/
	79 ふたり	/
	80 包帯クラブ	/
	81 僕は勉強ができない	/
	82 ほくらの七日間戦争	/
	83 ポケット詩集	/
	84 坊っちゃん	/

	書名	読んだ日&メモ
ま	85 マザーテレサ あふれる愛	/
	86 道は必ずどこかに続く	/
	87 壬生義士伝 上・下	/
	88 モギ ちいさな焼きものの師	/
	89 モモ	/
や	90 山中伸弥先生に、人生とiPS細胞について聞いてみた	/
	91 寄りかからず	/
	92 夜のピクニック	/
ら	93 羅生門 蜘蛛の糸 杜子春 外十八編	/
	94 竜馬がゆく 1～5	/
	95 レ・ミゼラブル 上・下	/
	96 老人と海	/
	97 ローワンと魔法の地図	/
わ	98 若草物語	/
	99 わたしと小鳥とすずと	/
	100 わたしはマララ	/

「読書の旅」

発行日 平成30年3月30日

表紙絵 清瀬市立清瀬第五中学校 梶 ひより

挿絵1 清瀬市立清瀬中学校 安達 日菜

裏表紙 清瀬市立清瀬第二中学校 山崎 葉月

発行 清瀬市教育委員会 指導課

〒204-8511 清瀬市中里五丁目842番地

TEL 042-492-5111

印刷 ほしみ印刷株式会社

〒189-0025 東村山市廻田町1-2-11

TEL 042-395-0234



清瀬市立		中学校
年	組	番
年	組	番
年	組	番
氏名		